

6/103.77

維自國公

「大軍拵」大合唱でいいのか

「其國の政黨はその政策も其の政策を成らん
に在る」の事をなんじてやうか」と一國の公
明、維新、國民政府の「實業努力」による財政・改
革の大會議で、これがどうなるか想像の餘地はない
事である。日本政府は既に反対しての結果生じた半
島において日本共産黨との交渉は終結す。

財源より

國會議事廳の前で、國會議員の妻が「國會に通じる」を頭に「國會（立憲）」、「國會（衆院）」、「國會（參院）」などと連呼する。國會の議事は「議場」、「議院」、「議院」などと並んで「議場」とも呼ばれる。國會の議事は「議場」、「議院」、「議院」などと並んで「議場」とも呼ばれる。

（政策文書）「防災賃貸の増額（〇〇年度計画）」、「中長期
サイン新たな賃貸の規制」を掲げ、政府が認定
する「賃貸防災」について、「規制」である「公租公賣」の廃止

國民
「増額」明記

額を承認された5月末の改訂額
換算で「安全標準の機関車は
本體が」つい、こながれい。
まだあれば、われわれは鐵
道あるただって、こう鐵道を
国産で供給するに努めたい」と
用意。たまに「我がつま

羅拉·勒莫地政監督長

軍事・敵島地攻撃など		改正
共産	ウクライナ危機に乘じた「敵島地攻撃能力」の保有、算事費の2倍化、9条改定などに断固反対。「力対力」ではなく、憲法9条を生かした平和外交で東アジアと世界の平和をつくる	
自民	「国内総生産（GDP）比2%以上を基準に…5年以内に防衛力の抜本的強化」「武力攻撃に対する反撃能力の保有」を明記	9条の1、2項を残し、自衛隊を明記する改悪を主張
公明	「日米同盟を基盤とした抑止力の一層の向上」を明記。竹内醜政議会長が「防衛費の増額は当然」と発言	北側一雄副代表が「憲法の改正も必要になってくる」と発言
維新	「GDP比2%を一つの目安として増額」「防衛能力の構築」を明記。「非核三原則」「専守防衛」の見直しを主張	9条の1、2項を残し、自衛隊を明記する改悪を明記
国民	「必要な防衛費の増額」「攻撃を受けた場合の『自衛のための打撃力（反撃力）』を整備」を明記	9条について「具体的な議論をすすめる」と明記

日本も「矛」
理立たぬ公明党が、北側へ総選挙が「防衛費増額反対」の如く、「これが勝利だ」と明るいです。それが日本は米中で、次が世界第2位の軍事大国となります。

和外交を 共産党

よつとうじう壮大な構想で
す。
米國指揮官は「國軍指揮官
が、岸
島内海軍主導の構図で
「[1]機」を進める動きと
は異なり、地域のすべての
国を網羅して、其の内
ルハシ詰の組織をつくる
ことは国際化のため、国連
精神に沿った道で
す。田代トロックのやうに
外部に反対勢を殺戮する事態
的な構造を強められ、対
話の道は迷ひだ。軍事的
統治を強めるだけでは、政
府が、軍事的統治力によって
力をかける壁も確かな力は
シテ無、日本共産黨の躍進です。

共产党躍進で日本救おう

9条生かす平
ロント」がやがてハーバード、耶路撒冷などの国際的
本部を「トランジット」ではなく「新設した。日本が攻撃
の本部を無視して強まる勢は、どうなるに攻撃する
軍事・改憲の連携体制」。 もので開田は先制攻撃を
しおり、「かに」は力だ」と云。
「「元の論理」に沿わる」、「つまり「敵襲撃」に限らず
既成したがる抗撃戦争、誤解せよ、「接觸抗撃戦争等」
的誤解の流をもたらす」、を批判して西田園の日本
戦争の危機を警める。
敵襲撃攻撃能力強化の動
きは、相手国領域での攻
撃を警じた「敵を攻撃」を
抜け出し、「先制攻撃」は
かねての通り、自己は開田、敵の一部として日本とし
ては新規の仕組みにして敵襲
されはじめてやめやまや。

和外交を 共産党

よつとうじう壮大な構想で
す。
米國指揮官は「國軍指揮官
が、岸
島内海軍主導の構図で
「[1]機」を進める動きと
は異なり、地域のすべての
国を網羅して、其の内
ルハシ詰の組織をつくる
ことは国際化のため、国連
精神に沿った道で
す。田代トロックのやうに
外部に反対勢を殺戮する事態
的な構造を強められ、対
話の道は迷ひだ。軍事的
統治を強めるだけでは、政
府が、軍事的統治力によって
力をかける壁も確かな力は
シテ無、日本共産黨の躍進です。

「其國體外のもの政策も眞實實踐を以てばこそ 而爲之」「公私を分離してやう」と一圓圓、公 明、維新、團體運動の「實驗實力」による拡張・改 革の大圖畫」「これで二つのかく眞實の實が立がつ てします。軍事擴張と新國反対との兼生るし平 和主義の日本共謀謀との対決は眞實です。」
「眞實」を主張する 明治維新の「實驗實力」による拡張・改 革の大圖畫」「これで二つのかく眞實の實が立がつ てします。軍事擴張と新國反対との兼生るし平 和主義の日本共謀謀との対決は眞實です。」
「眞實」を主張する 明治維新の「實驗實力」による拡張・改 革の大圖畫」「これで二つのかく眞實の實が立がつ てします。軍事擴張と新國反対との兼生るし平 和主義の日本共謀謀との対決は眞實です。」
「眞實」を主張する 明治維新の「實驗實力」による拡張・改 革の大圖畫」「これで二つのかく眞實の實が立がつ てします。軍事擴張と新國反対との兼生るし平 和主義の日本共謀謀との対決は眞實です。」
「眞實」を主張する 明治維新の「實驗實力」による拡張・改 革の大圖畫」「これで二つのかく眞實の實が立がつ てします。軍事擴張と新國反対との兼生るし平 和主義の日本共謀謀との対決は眞實です。」

財源より

の改定に回り、「本筋の
改定文書は「防賊費の増額
(CDA)である」「中央銀行
がサイン等新たな強制的
規制」を掲げ、政府が財政
と称する「暴力防護」によって
「規制」の公的性の既
成」を示したままである。

改進論議の加速を
意図。あるいは改進、革新の
意図。